

6/3 Sat.

2023年

100th

SENZOKU

16:30開場 | 17:00開演

100th Anniversary

SENZOKU GAKUEN 100th ANNIVERSARY

プレミアムコンサート

クラシックとジャズの融合

100周年に贈る華麗なる歓喜のハーモニーまつり



[Performer]

荒庸子 Yoko Ara / Cello

山田武彦 Takehiko Yamada / Piano

納浩一 Koichi Osamu / Bass

松山修 Shu Matsuyama / Drums



[Program]

チャップリン：スマイル

モリコーネ：ニュー・シネマ・パラダイス

ボーリング：チェロとジャズピアノトリオ組曲より

他

[About]

会場：洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 1F

アクセス：JR 南武線「武蔵溝ノ口」駅

東急田園都市線 大井町線「溝の口駅」南口下車徒歩 8 分

入場料：¥2,000 全席自由 | 要予約 ※4歳以上入場可

チケット/公演問い合わせ先

0603premium14@senzoku.ac.jp

※写真・ビデオの撮影および録音は固くお断りいたします
※駐車場はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください
※公演内容は変更になる場合がございます

主催：洗足学園音楽大学・大学院
後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会



[Program]

チャップリン:スマイル

モリコーネ:ニュー・シネマ・パラダイス

ボーリング:チェロとジャズピアノトリオ組曲より

他

荒庸子 Yoko Ara / Cello

桐朋学園女子高等学校音楽科、同大学を経て、ジュリアード音楽院修士課程修了。国内及びニューヨーク、ロンドン等にてリサイタルを開催。韓国、ソナム市交響楽団、神奈川フィルとの協演。サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団、宮崎国際音楽祭、InterHarmony International Music Festival (イタリア)など国内外の多数の演奏会に出演。また国内主要オーケストラにて客演首席として招かれている。ハーブとのユニット「Duo Champagne」のメンバー。

現在、洗足学園音楽大学・大学院教授。洗足学園小学校オーケストラの総指揮責任者。新型コロナウイルスに対し、献身的に従事している医療関係者の皆様への敬意と感謝の気持ちを込めて「荒庸子スマイル+明るい未来へのプロジェクト」を立ち上げた。YouTube公式チャンネル「Yoko Ara Smile+ For a Bright Future」を開設。CDアルバム「想い出の映画館〜太陽がいっぱい〜」、「Fantasiestücke」、「Smile」をリリース。オフィシャルサイト <http://www.yokoara.com>

山田武彦 Takehiko Yamada / Piano

東京藝術大学大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞(プルミエ・プリ)を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、L'itineraire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。またフランス北部のランス市に

おいて大戦後50周年記念式典のために、ヘブライ語による委嘱作品を発表。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。2004年より「イマジン七ツコンサート」音楽監督、2007年より「下丸クラシックカフェ」ホスト役を担当するなど、ユニークなコンサートの企画にも参加している。東京藝術大学招聘教授を経て現在同大学音楽文化学所属(ソルフェージュ分野主任)、洗足学園音楽大学客員教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。

2017年より浅草オペラ100周年記念企画「ああ夢の街浅草!」にて音楽監督を務め、全曲の作・編曲を担当、浅草「東洋館」他に上演を行う。

納浩一 Koichi Osamu / Bass

1960年10月24日、大阪生まれ。京都大学卒業後パークリー音楽大学に留学。'85、'86年度のパークリー・エディ・ゴメス・アワード受賞。'87年に同大学作曲編曲科を卒業。帰国後は都内のライブハウスやスタジオセッションを中心に活動。'96年-'08年、渡辺貞夫グループのレギュラー・ベーシストとして、全国ライブハウスや、モントルージャズフェスティバルを初めとする、海外ジャズフェスティバルなどに多数に出演した。現在はクリヤ・マコト、則竹裕之と共にユニットを組み、アルバム「Acoustic Weater Report」(16年)、「Acoustic Weater Report 2」(19年)を発表し、国内ジャズフェスや日本中のライブハウスでの演奏活動を展開中。

'97年7月、初リーダーアルバム「三色の虹」、'06年1月、リーダー作「琴線/The Chord」をそれぞれリリース。'22年7月、総勢36名のミュージシャンを集めて作った3作目のリーダーアルバム「CODA」を発表。プロデュース、作曲、作詞、編曲全てを手がける。ジャズスタンダード曲集「ジャズスタンダード・バイブル1・2」「ジャズスタンダード・バイブル・フォー・ボーカル」やソロ集「ジャズスタンダード・バイブル for ADLIB」、ジャズの理論書「ジャズ・スタンダード・セオリー」をリットーミュージックより出版し、好評を博している。

HPのURL:<https://www.osamukoichi.net/>

松山修 Shu Matsuyama / Drums

1989年にパークリー音楽大学を卒業。留学中からアメリカ、ブラジルにてエルメト・バスコアル、ポール・グリフィン、ウォレン・ヒル、ポーラ・コール等、数多くのミュージシャンたちと共演。帰国後は1992年に高中正義の全国ツアーに参加。1997年 SOUL BOSSA TRIOのメンバーとして、オランダのNorth Sea Jazz Festivalに出演。

その後は小野リサ、上田正樹、MALTA、TOKU、クリヤマコト、PINKBONGO、佐山雅弘、木住野佳子、Bobby Shew、向井滋春等とジャズ、ラテン、R&Bのライブ、セッション及び半井堅、白庭潤JAZZROOTS、水野正敏、CHAKA、SPEEDのHIRO、Dorlis、吉岡大典、アニメ「エヴァンゲリオン」のエンディングテーマなどのレコーディング活動に加え、ミュージカル「エリザベート」「モーツァルト」「マリアアントワネット」「West Side Story」「アイダ」「王家の紋章」等のオーケストラでの演奏と、音楽のジャンルを超えて多才に活動している。ジョン・ライリーの教則本「The Art of Bop Drumming」他の翻訳、また、洗足学園音楽大学ジャズ科講師としてドラムを指導している。

松山修 Official Website <https://shu-drum.com>